

# スマートシティの実現

# 1. スマートシティの導入コンセプト

## 対象地区の課題・特徴

### 人口：

土地区画整理事業に伴う居住者増加への対応（施設・サービスの充実化の必要性）

### 上位計画：

立地適正化計画における「生活サービス型」都市機能誘導区域への対応  
（「医療・福祉施設」の誘導、公共交通を活かした暮らしの実現）

### 土地利用・施設：

- 地域内交通の拡充の必要性
- 賑わい・交流機能の不足

## 「ウォーカブル×ウェルネス＝歩いて暮らせる健康促進型のスマートシティ」

- 自家用車に依存せず、自動運転バスやグリーンスローモビリティなどの次世代型の地域公共交通による移動を実現
- 地域公共交通による移動に加えて、ウォーカブルな（地域の徒歩回遊を促す）まちづくりを推進し、居住者の健康を促進
- 「生活サービス型」の都市機能誘導区域として、医療・福祉施設を核としたまちづくりを推進

## 2. スマートシティの取組メニュー

### ウェルネス

- 居住者の健康づくりを促進する拠点整備（健康管理、食、スポーツ分野）
- 歩きたくなる屋外空間の整備（健康器具、交流空間）
- 健康促進型のサービスの提供（健康ポイントなど）

### モビリティ

- 次世代モビリティ（自動運転バス、グリーンスローモビリティ、MaaS）の導入
- 次世代モビリティ用のポートの整備

### エネルギー・ 防災

- 自律分散型の地域エネルギーシステム
- エネルギーステーション（電力備蓄、供給）
- 地域防災拠点の整備
- 太陽光パネルを備えた居住施設の整備
- V2Hの導入

### 安心・安全

- 地域見守りシステム（センサ、アプリの導入）

### 3. 地区全体構想図（ゾーニング）

業務対象区域

土地区画整理事業予定区域

#### 1. スマートリビングゾーン

- ・太陽光パネルを設置した居住施設
- ・V2Hの導入
- ・エリアエネルギーマネジメントシステムの導入
- ・徒歩回遊を促進する歩行ルートの整備

#### 2. ウェルネスゾーン

- ・浜松赤十字病院と連携した地域健康拠点の整備
- ・賑わい・交流施設の整備
- ・エネルギー拠点の整備
- ・防災拠点の整備
- ・オンデマンド、シェアリングモビリティ用のポートの整備

#### 3. 地域防災拠点

- ・エネルギー備蓄、情報提供設備の整備

#### 4. 既存居住地域

